

令和7年度 次世代ユネスコ国内委員会 第1回会合

次世代ユネスコ国内委員会の 令和7年度の活動の方向性（案）

次世代ユネスコ国内委員会
2025年6月4日



令和6年度の成果と課題を踏まえた、令和7年度の活動方針

ユネスコ活動への参画層・取組意向層と協働し、ユネスコ活動に参画するユースの裾野拡大を目指します。

活動方針	①既存のユースによるユネスコ活動の活性化	②ユネスコ活動に参画するユースの裾野の拡大
R6 成果	各活動において地域に根差したユネスコ関連団体との連携が実現しました。	委員会に対する個人の認知の高まりを実感しました。
R6 課題	連携が実現している団体は限定的であり、さらに多くのユネスコ関連団体と連携していく必要があります。	イベントへのユースの参加者数は個人での参加は増加しているものの、団体としての参加は少ない状況にあります。
R7 方針	現状の連携を継続しつつ、 <u>ユネスコ関連団体とより広い連携を目指します。</u>	<u>・本委員会の目的や具体的な活動内容の認知を促進します。</u> <u>・SDGs/サステナビリティ関連の活動をしている団体との連携を図ります。</u>

令和7年度の事業構成

ユネスコ活動に参画するユースの裾野の拡大

ユースフォーラムの開催

対象（メイン）

国内外でユネスコ活動などを含む社会課題
解決に取り組むユース

開催時期

2026年2月8日を予定

※秋～冬にプレイベントを実施予定

Youthnote等による活動の発信

発信内容

- ・国内外のユネスコに関連する国際会議や
イベントへの参加報告
- ・各WGの活動風景

**ユネスコ活動への参画層・取組意向層と協働し、
ユネスコ活動に参画するユースの裾野拡大を目指す**

ユネスコ活動への参画層・取組意向層との連携を推進

1

教育

2

科学

3

文化

4

国内外の会議/イベントへの参加

1 教育ワーキンググループにおける活動方針と内容

地域・社会の持続可能性について学び合いによる教育の在り方の模索

- ✓ 地域の課題に取り組む学生や大学ユネスコクラブ等の学生団体と連携して、**地域資源を切り口に地域・社会・世界の持続可能性について学び合う機会（ワークショップなど）を創出**します。
- ✓ こうした取り組みを通して、ユースが主体となった教育の在り方を模索します。

ユネスコ活動に関わるユースの ネットワーキングイベントの開催

- ✓ 目的：関西地域において、SDGs,ESD,ユネスコ活動にかかわるユース同士が繋がる機会を提供（関東での開催も検討中）
- ✓ 概要：令和6年度関西地域で実施したネットワーキングイベントをベースに、主にユネスコスクールの中高生をターゲットとして、卒業後もユネスコにかかわる活動が続けられる場の発見を提供し、将来像をイメージしてもらえようにします。また、ユース団体同士の関係を構築し、ユースフォーラムへの参加につなげます。

国際的なキャリアを知り、交流するイベントの実施

- ✓ 目的：「国際機関で働く」ことに対して具体的かつリアルなイメージを持ってもらい、将来のキャリア選択の参考にしてもらう機会の提供
- ✓ 概要：国際機関や語学を活かしたキャリアに興味がある10代～20代前半の日本人学生と、ユネスコで働くインターンや研修をしている若手たちとのオンライン交流会を開催します。

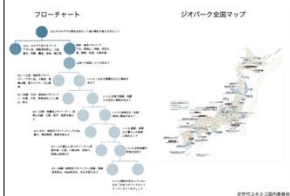
2 科学ワーキンググループにおける活動方針と内容

世代と立場にとらわれない地域資源を活かした地域社会の持続可能性の模索

- ✓ 糸魚川ユネスコ世界ジオパークと白山ユネスコエコパークを主体とし、**多様なステークホルダーを巻き込んだ地域社会の課題抽出と地域資源を活かした課題解決**の方法を検討します。

ユネスコ世界ジオパーク・ユネスコエコパークマップの作成

- ✓ 目的：ユネスコ世界ジオパーク・ユネスコエコパークの認知向上および観光促進
- ✓ 概要：ジオパークやエコパークの魅力訴求を目的とした、マップ作成に取り組みます。作成する際は、各地のジオパーク及びエコパークと連携し、ユース世代の活動についてヒアリングを行います。



表紙

フローチャートによる
個人と目的に合った
サイトの紹介



内容

各サイトの食、
アクティビティ、
観光、特色を
ユースが掲載

ユネスコ世界ジオパーク・ユネスコエコパークをテーマとした出前授業

- ✓ 目的：次世代の日本ジオパーク・ユネスコ世界ジオパーク・ユネスコエコパーク従事者の増加
- ✓ 概要：小・中・高校生を対象に、それぞれのレベルに合ったジオパーク・エコパークの理念やユースとしての関わり方について出前授業を行います。授業には体験学習を取り入れることで、ジオパーク・エコパークについてのより具体的なイメージを持ってもらえるように工夫します。今年度は、生徒と教員からのフィードバックをもらい、ブラッシュアップすることで授業内容のテンプレート化を目指します。

文化ワーキンググループにおける活動方針と内容

地域が有する独自の価値を活かした社会創造の模索

- ✓ 創造都市ネットワーク（UCCN）を中心に活動を継続し、各創造都市で活動を行うユースとのネットワーク構築に努めるため、創造都市のユースの活動を調査し、**次世代委員と全国の創造都市ユースとの連携を図ります。**
- ✓ また、**ユネスコ食文化創造都市の大分県臼杵市をモデル地域として、地域独自の価値の創造に取り組みます。**

創造都市ユース調査

- ✓ 目的：ユネスコ創造都市に携わるユースの発掘
- ✓ 概要：全国の創造都市と連携し、各地の状況をヒアリングするとともに、創造都市事業に関わるユースの発掘をします。さらに、ユネスコ創造都市ネットワークの枠組みの中で、地域で活躍するユース同士が交流できる場を設け、彼らの創造的な活動を一層支援していきます。

創造都市ユースの活動活性化を目的とした授業実践

- ✓ 目的：創造都市ユースの活動活性化
- ✓ 概要：パイロット事業として、臼杵中学校においてユースと共に森づくりを通じて水を育み、臼杵の発酵醸造業と未来を支える実践的な授業を行います。将来的には、他UCCN加盟都市へと横展開を目指します。



4 国内外の会議/イベント/ネットワークへの参加

日本のユース世代としての発信力と多様なステークホルダーとの連携強化

- ✓ ユネスコ活動への理解を深めるとともに、委員会の活動や日本のユースとしての意見を積極的に発信します。
- ✓ 国内外のユネスコ関係者とのネットワークを構築し、今後の委員会活動に活かします。

委員が参加予定の国内外の会議/イベント

時期	国・地域	イベント名
6月	中国	生物圏保存地域東アジア・ネットワーク会議（EABRN）
7月	日本（東京）	日本ユネスコエコパークネットワーク2025大会
8月	日本（室戸）	ジオパーク国際ユース フォーラム2025
9月	中国	第5回生物圏保存地域世界会議
9月	日本（十勝岳）	第15回日本ジオパーク全国大会
9月	スペイン	文化政策と持続可能な開発に関する世界会議2025
10月	ウズベキスタン	第14回ユネスコユースフォーラム

※上記の会議は、現委員が今後参加を予定しているものであり、すべての会議において次世代ユネスコ国内委員であることが参加の条件となっているわけではありません。

委員が所属する国際的なネットワーク

SDG4 Youth & Student Network 2024-2025